

令和2年8月11日

教員各位

副学長	小田切 真
副学長	小田 敏明
短大部副学長	小田 寛人
教務部長	安藤 雅之

令和2年度後期の授業について

静岡県においては新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあり、本学が設定する「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動指針」においても依然「レベル2」(感染限定期)段階となります。そのため本年度の後期授業については、「2. 後期授業の基本方針」に従って実施することといたします。

教員の皆様には前期同様、大変なご負担をおかけすることになりますが、下記のことにご留意のうえご協力のほどお願い申し上げます。

記

1. 本学の「新型コロナウイルス感染症抑止のための基本方針」
 - ・学生・教職員の健康・安全を守ることはもとより、学内外への感染被害抑止が最優先です。そのため、行事の開催等に当たっては、政府専門家会議の提唱する「新しい生活様式」に留意いただくとともに、厚生労働省が示す感染を拡大する次の3つの可能性「3つの密ー感染拡大3条件ー」が同時に重なることのないよう十分留意してください。
 - 換気の悪い密閉空間
 - 多数が集まる密集場所
 - 間近で会話や発声をする密接場面
 - ・新型コロナウイルス感染症抑止のため上記基本方針に則り、学内外の皆様の健康と命を守るとともに、人権を尊重し、感染者及びその関係者への不利益及び差別的な扱いを禁止します。
2. 後期授業の基本方針

静岡県の方針及び本学の行動指針に即して、以下の方針のもと授業を実施します。

 - (1)後期授業実施方法の最終判断基準日: 令和2年8月31日(月)
 - (2)判断基準の根拠: 静岡県の方針及び本学の行動指針
 - (3)後期授業の実施について
 - ①本学の「行動指針 レベル2」あるいは「レベル1」の場合
 - 対面授業とポータル等を活用した授業を行います。対面授業につきましては、各学部・

学科・研究科から出された希望科目を全学で調整して決定した科目とします。

②本学の「行動指針 レベル3」以上となった場合

○対面授業を中止してポータル等を活用した授業のみで実施します。

(4)最終決定について

本日(8月11日)時点で、対面授業とする科目(「収容定員の70%」を目途に全学で調整した授業科目)に関してご連絡しますが、後期授業の実施方法に関する最終決定は、最終判断基準日(8月31日)となります。上記のとおり、本学の「行動指針」が「レベル3」以上となった場合は、後期授業はすべてポータル等を活用した授業となります。最終決定は改めてメールやホームページでお知らせいたしますので、必ずご確認ください。

3. 後期授業の実施方法

(1)授業は全15回です。

(2)定期試験期間は前期同様設定しませんので、第15回目(最終回)の授業において、試験あるいはレポート課題、授業を実施してください。(追試験期間は設定しませんが、卒業、修了に係る再試験は学部、研究科ごと実施してください。)

4. ポータルサイト等を活用した授業について

前期同様、受信する側(学生)に経済的負担をかけないことなどを考慮し、以下の形態で実施することを推奨します。

(1)資料配信型…… 講義資料(パワーポイントなど)を「常葉大学ポータルサイト」やメール等により配信するとともに課題を指示し、このことに対するレポートをメールで提出させ、設問の回答、添削指導、質疑応答等により指導を行う。

(2)教科書中心型…「常葉大学ポータルサイト」やメール等により教科書を活用した課題を指示し、このことに対するレポートをメールで提出させ、設問回答、添削指導、質疑応答等により指導を行う。

※授業内容により、(1)と(2)を組み合わせることも可能です。

※Office 365 や Google のアカウントを既にお持ちの教員で、学生に対して学内限定で動画ファイルを共有するなどの場合、容量に余裕のある One Drive や Google Drive(ファイル置き場)の利用を推奨します。ただし、過度なネットワーク接続料金が発生する可能性があるため、履修している学生全員の同意が前提となります。

(3)ポータルサイト等を活用した授業実施上の留意点

①資料を作成する際、著作権に抵触しないよう十分に注意してください。

②メールや掲示板等を用いる際、学習内容を深め、発展等させることにかかわるレポート課題、

90 分の講義時間に相当する学習の指示・課題を提示し、その成果を確認する等の工夫を必ず行って下さい。

- ③課題提示の際は、一定の期間をおいて提出させるような配慮をぜひともお願いします。
- ④授業としての成立要件として、「学生の意見交換の機会を確保する」ことが必要となりますので、掲示板を設けたり、メールでのやり取りの中で出された意見を履修者と共有したりして下さい。
- ⑤ポータルサイト等を活用した授業で行った課題等については、「ポータルサイト等を活用した授業課題報告書」にその状況を記録し、提出して下さい。尚、「ポータルサイト等を活用した授業課題報告書」は後期授業終了後、教務課へメールで提出して下さい。

5. 対面授業について

(1) 対面授業を実施するにあたっての基本的な考え方

- ①下記に示す授業形態及び優先順位(1~6)等を考慮して、対面授業を実施します。

- 1 全学共通科目の実技科目、学科・課程・研究科・専攻科の実験・実習・実技科目、研究科の少人数の科目
- 2 学科・課程・研究科・専攻科の資格・免許科目、学科・課程・研究科・専攻科の卒業・修了に係る必修科目
- 3 学科・課程・研究科・専攻科の専門科目で受講者数が 50 名以下の科目
- 4 学科・課程・研究科・専攻科の専門科目で受講者数が 80 以下の科目
- 5 学科・課程・研究科・専攻科の専門科目で受講者数が 100 名以下の科目
- 6 学科・課程・研究科・専攻科の専門科目で受講者数が 150 名以下の科目

※対面授業実施科目についての詳細は別紙を参照してください。

- ②各キャンパスにおける教室環境を考慮して実施します。
- ③基礎疾患等のある教職員及び学生の意向を十分に考慮します。

(2) 対面授業実施上の留意点

①時間割および教室について

対面授業を実施する科目は、別紙時間割で示されている曜日・時限・教室等で行ってください。

②感染症予防対策について

1) 授業前の対策

- ・毎朝の検温を実施して、授業に臨み、体調に不安があるときには休講にし、後日、補講(遠隔授業、レポート課題も可)を行ってください。無理をすることは感染蔓延の元であることを自覚しましょう。
- ・マスクの常時着用をお願いします。
- ・教室に入る前に教室前においてある消毒液で手指の消毒を行ってください。

2) 授業時について

i : 「密閉」「密集」「密接」の「3密」を避けるため、以下の対策を講じて授業を実施してください。必ず授業前に確認をお願いします。

○「密閉」を避けるための対策

- ・出入口の扉を開放してください。
- ・窓のある教室では窓を開放してください。
- ・換気扇(ロスナイ等)のある教室では換気扇を稼働してください。

なお、雨又は冷房稼働中で窓を閉める場合は、30分に一度、10分程度の換気をお願いします。

○「密集」を避ける対策

- ・授業では必ず学生の座席を指定し、着席させてください。なお、座席表を担当教員は第1回目の授業において作成し、写しを教務課に提出してください。前期に感染者及び濃厚接触者が発生し、対応の際に必要となりましたので、厳守願います。
- ・座席指定に当たっては、収容定員の70%を超えないように教室を割り当ててあります。間隔をあけるように×印がついているので、その印に従って学生を着席させてください。

○「密接」を避ける対策

- ・対面でのディスカッション等の学習活動は極力実施しないでください。
- ・演習、実技、実習、実験で会話をしなければならないときは、1m以上間隔をあけるとともに、大きな声を出さないように指導をお願いします。

ii : その他の対策

- ・授業中の必要ない私語は慎むように学生の指導をお願いします。
- ・体調の思わしくない学生を見つけたら、速やかに学生課(水落キャンパスは保健室)へ連絡し、職員の指示を受けてください。(保健室の利用はできません。)
- ・授業終了後、授業担当者は使用した教卓、マイク等を、アルコール消毒液を含ませたペーパータオル等で拭いてください。
- ・90分の授業時間をすべて講義・実験・実習・実技に費やすことなく、例えば半分の時間を教室等で行い、残りの時間は課題等を出すことによって3密を避ける工夫等もお願いします。

③学生への対応について

- 1) 体調不良等により学生が欠席するときは、必ず授業担当者へ連絡(メールや電話)するように指導をお願いします。当日の連絡が無理な場合、後日の連絡でも構わないことを伝えてください。
- 2) 体調回復後、1週間以内に授業担当者へ「体調不良等による欠席届」を提出するよう学生に指導してください(「体調不良等による欠席届」(参考資料)は大学ホームページからダウンロード、あるいは教務課で学生に配布しています)。なお登校再開にあたっては

[体調不良等による欠席届【静岡キャンパス】\(pdf\)](#)

[体調不良等による欠席届【静岡キャンパス】\(xlsx\)](#)

[体調不良等による欠席届【浜松キャンパス】\(pdf\)](#)

[体調不良等による欠席届【浜松キャンパス】\(xlsx\)](#)

参考資料:体調不良等による欠席届(静岡キャンパスの例)

令和 年 月 日	
体調不良等による欠席届 (静岡キャンパス)	
先生	
<学部>	<短大部>
教育学部 <input type="checkbox"/> 初等教育 <input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 心理教育 <input type="checkbox"/> 日本語日本文学	<input type="checkbox"/> 日本語日本文学
外国語学部 <input type="checkbox"/> 英米語 <input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション <input type="checkbox"/> 保育	<input type="checkbox"/> 保育
経営学部 <input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 音楽	<input type="checkbox"/> 音楽
社会環境学部 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 専攻科音楽	<input type="checkbox"/> 専攻科音楽
保育学部 <input type="checkbox"/> 保育	<大学院>
造形学部 <input type="checkbox"/> 造形 <input type="checkbox"/> 国際言語文化研究科	<input type="checkbox"/> 国際言語文化研究科
法学部 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 環境防災研究科	<input type="checkbox"/> 環境防災研究科
健康科学部 <input type="checkbox"/> 看護 <input type="checkbox"/> 静岡理学 <input type="checkbox"/> 初等教育高度実践研究科	<input type="checkbox"/> 初等教育高度実践研究科
学籍番号	氏名
欠席日又は期間	月 日() ~ 月 日()
曜日・時限	曜日 時限
授業科目名	
欠席理由	熱 咳 のど だるさ 健康上の不安 その他()

常葉大学・常葉大学短期大学部 教務部 教務課

※ 体調回復後1週間以内に科目担当者に提出すること。

4. その他

学生部から配布されている文書も参照し、大学内だけでなく、大学外でも各自健康を保つように注意しましょう。

5. 困ったとき等の問い合わせ先↓

電話番号： 草薙 C 054-297-6100

瀬名 C 054-263-1125

水落 C 054-297-3200

浜松 C 053-428-3511